

第6回「高専技術教育研究発表会」in 木更津 参加報告

技術第2班 遠藤 健太郎

1. 目的

本研究発表会は高専の技術職員が、日常業務で携わっている広範囲な技術や教育研究支援活動並びに研究活動等について、発表・意見交換会を通じて技術職員の資質向上と技術教育の充実を目的とする。

2. 開催時期

平成27年3月5日(木)～3月6日(金)

3. 会場

木更津工業高等専門学校

口頭発表・・・第1、第2会場

(マルチメディア A、B 教室)

ポスター発表・・・第3会場(E1 講義室)

4. 発表内容

1) 第1会場

技術的教育研究支援に関わる発表(実験・実習、学生指導等)及び科学研究等補助金採択による研究発表

2) 第2会場

公開講座、出前授業など地域貢献に関わる発表及び技術職員セミナーなど技術職員の啓発に関わる発表

3) 第3会場

ポスター発表

※口頭発表・・・時間12分、質疑応答4分

5. 日程

<1日目>

13:00-13:40 開会挨拶

紀聖治高専機構理事挨拶

前野一夫学校長挨拶

インフォメーション

写真撮影・移動

13:45-14:52 口頭発表(第1、第2会場)

15:00-15:40 ポスター発表(E1 講義室)

15:45-16:52 口頭発表(第1、第2会場)

18:00- 情報交換会

<2日目>

9:00-11:10 口頭発表(第1、第2会場)

11:15-11:20 閉会式

11:30-12:00 学内見学(分野別)

6. 発表を聴講して

自身の専門と異なる分野の発表が多く、コーチングといわれる人材開発技法に関する発表もあり、専門分野・学生指導面の知見を広げられたと共に、次年度に向けた自身の取り組みへの参考にすることができた。また、技術士を取得した職員の方の取り組み(学生向けの技術士試験対策講座等)について何うこともでき、より一層の自己研鑽や技術教育充実に向けた取り組みの必要性を強く感じ、良い刺激となった。

分野別の学内見学では、電気電子系で使用している実験室や設備の紹介・説明をして頂いた。本校の実験室の環境と異なる面が多々あり、高学年時においては研究室と兼用の設備等、充実した環境の中で実験が行われていた。本校(電気電子系)では未だ学生実験に研究設備を導入したテーマが無いため、技術の高度化が進む中で、より時代にマッチした技術教育を行うためにも、設備を活用した実験テーマの実現が可能となるように取り組んでいきたい。

7. おわりに

本研究発表会を開催するにあたり、準備から運営まで行って頂いた、木更津工業高等専門学校教育研究支援センターの皆様にご感謝を申し上げます。次年度は発表者として参加する予定であるため、今回の発表会で学んだことを活かし、より良い発表・意見交換等ができるように努めたい。